

社会福祉法人よるべ会
令和3年度事業計画書

社会福祉法人よるべ会
令和3年4月1日

令和3年度 社会福祉法人よるべ会事業計画

<基本方針>

障害のある人もない人も、平等に、自立に向かって努力し、共に暮らし合う社会をめざした活動を基本とする。そして法人が行う様々な活動を通して、利用する人たち自身が主体的に社会参加に向かい、その関わり合いの中で成長し、人としての喜びが広く生まれ続ける環境づくりとその支援に努める。また、そのためにも地域社会の福祉に積極的に貢献する。

<品質方針>

- ① 私たちは、適切なサービスを提供するために、各部署で高い技量と能力を得る努力を行い、それを支援の場で実践します。
- ② 私たちは、その実践にあたり、常に利用者一人ひとりの尊厳と権利を尊重し、利用者本位を元にしたサービス提供を基本とします。
- ③ 私たちは、日々親切・笑顔・挨拶をモットーに気配りの行き届いたサービス提供を行なう。
- ④ 私たちは、常に品質マネジメントシステムによる改善を図り、質の高いサービス提供を実践します。

*まずは標準化されたサービス提供を身につけ、その標準化されたサービスの上に、職員一人ひとりの持ち味を加え、より質の高いサービス提供につなぐ。

※ 大切にしよう5つのS

Service (貢献・奉仕)

他に尽し与え続ける活動は人としての使命、人たるゆえん。

Speed (迅速)

他人を待たず、他人のせいにせず、自ら進んで行動する。

Spirit (真心)

より善き人間となる。他人への思いやり無くして正しい判断や行動は出来ない。

Specialty (専門性)

より良きスキルを身につけ、本業の役割を担う。玄人となる。

Satisfaction (満足)

喜ばれる嬉しさ、達成感。

〔1〕令和3年度主な活動計画

(1) 権利擁護の確立

- ・利用者一人ひとりの尊厳を守り、一人ひとりを尊重する
- ・利用者一人ひとりの健康・快適・安心・生きがい・意思を支える・役割を果たす

そのための日々の姿勢・言動を初め、学習・研修により意識の向上を図る

(2) 人材確保・育成への取り組み

- ・利用者への支援力の向上を組織力の向上につなぐチームワークづくり（育成）
- ・働き甲斐と働き続ける意欲が生まれる職場づくり（確保）

(3) 業務の検証と改善

- ・継続と改善を正しく見極める検証と改善の実行
- ・働きやすさの追求（身近な職場環境改善の視点等）

(4) 地域社会との連携

- ・私達の活動が常に地域社会、そして様々な人達との関係で成り立っていることを踏まえ、利用者一人ひとりをその関わり合いにつなぎ、存在しあう関係づくり（共生社会の実現をめざす）

(5) 管理体制の強化

- ・“これからの、よるべ会”づくり

(6) 職員労務管理の改善

- ・“働き方改革”の浸透・実施

〔2〕役員会の開催

(1) 定例役員会開催

理事会	*令和	3年	6月10日	(木)
	*令和	3年	6月25日	(金)
	*令和	3年	10月21日	(木)
	*令和	4年	3月10日	(木)
評議員会	*令和	3年	6月25日	(金)
	*令和	3年	10月29日	(金)
	*令和	4年	3月18日	(金)

(2) 監事監査の実施

(3) 評議員選任・解任委員会開催

(4) 必要に応じての役員会の開催

〔3〕事業概要

事業所名	よるべ沼代 (障害者支援施設)		コスタ・二宮 (障害福祉サービス事業所)		梅香園 (障害福祉サービス事業所)		わらべの杜 (福祉型障害児入所施設)	
実施事業	施設入所支援	定員40名	就労継続支援 B型	定員20名	就労継続支援 B型	定員18名	施設入所支援	定員40名
	生活介護	定員40名	生活介護	定員20名	生活介護	定員22名	短期入所	定員4名
	短期入所	定員4名	相談支援事業		相談支援事業		相談支援事業	
	相談支援事業							
事業所名	障害者支援センターぼけっと (就業・生活支援センター)		かめりあ・ボラリスホーム 共同生活支援事業(計8棟)		あずさの家 共同生活支援事業(計3棟)		どーむ (児童発達支援事業所)	
実施事業	就業・生活 支援センター	登録者 約450名	かめりあ ホーム	定員 33名	あずさの家	定員 7名	児童発達 支援事業	定員10名
	地域就労 援助センター		ボラリス ホーム	定員 13名	ポプラの家	定員 7名		
	相談支援事業				わたくも	定員 7名		

〔4〕職員配置

【法人職員状況】														(令和3年4月1日予定)			
職種	よるべ沼代		コスタ・二宮		梅香園		わらべの杜		ぼけっと		かめりあ・ボラリス		あずさの家		どーむ		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
管理者	1(兼)		1		1(兼)		1(兼)		1(兼)		1(兼)		1(兼)		1(兼)		
サビ児管	1(兼)		1(兼)		1		1				2		1(兼)		1		
医師																	
看護師	1(兼)		1(兼)		1(兼)												
栄養士	1																
生活支援員	14	9	3	4							4		4				
支援員			4	4	9	5			6	1					1	1	
保育士							5	3								2	
児童指導員							9	11									
相談支援専門員	3						1(兼)		1(兼)								
世話人											20		9				
運転手						2	1										
事務員	4				1												
その他						2		1									

〔5〕保護者会と連携充実を図り、学習会や作業等の共同開催を行う

〔6〕職員の確保と資質向上を図る研修を行う

〔7〕よるべ会の広報活動として「瓦版よるべ」を発行（8月・1月）する

〔8〕各施設・事業所の防災対策の充実を図る

〔9〕ISO品質活動の充実を図る（品質委員会・各月、内部監査・年1回）

〔10〕大学・専門学校の実習生を受け入れ、その育成機関の役割を果たす
（各施設・事業所）

令和3年度 行事・研修予定表

月	行事・家族会他	理事会・研修会他		
4	1(木) 辞令交付			
	3(土) よるべ会保護者会役員会 (日) 沼代地区祭り			
	17(土) よるべ会保護者会総会(書面決議)			
	20(火) みのり会総会(書面決議)			
5	29(土) みんなのつどい(中止) () 健康診断(梅香園)	19(水)～20(木) 福祉協会全国施設長等会議(横浜) () よるべ会監事監査		
	6			
6	4(金) ハイキング(梅香園) () 歴史そば会(梅香園) () 内科検診(梅香園)	10(木) よるべ会理事会 ()～() セルプセンター研修大会() []		
	25(金) よるべ沼代日帰り旅行	25(金) よるべ会評議員会・理事会		
	7			
7	7(水) 健康診断(コスタ・わらべ) 15(木) 健康診断(よるべ沼代) 17(土) 梅香園納涼大会(中止) 31(土) よるべ夏祭り(中止)	10(土) 全体職員会議		
	8			
	8	12(木)～15(日) 夏休み 23(月)～24(火) わらべの杜一泊旅行	()～() グループホーム研修会() [] ()～() セルプリーダ-養成前期ゼミ	
		9		
9	3(金) 梅香園旅行 5(日) 健民祭(よるべ沼代・わらべの杜) 17(金)～18(土) よるべ沼代一泊旅行 25(土) 歯科検診(よるべ沼代) 25(土) よるべ会保護者会(中止)	25(土) 法人職員研修会		
	10			
	10	17(日) よるべふれあい祭り 23(土) 秋の感謝祭(梅香園) () 予防接種(梅香園)	()～()セルプ関東() [] ()～()福祉協会関東() [] 14(木)～15(金) 日中活動支援部会(秋田) []	
		29(金) よるべ沼代日帰り旅行 30(土) コスタ二宮日帰り旅行	21(木) よるべ会理事会 28(木)～29(金) セルプ総合研究(札幌) [] 29(金) よるべ会評議員	
		11		
11	12(金) 予防接種(コスタ二宮) 19(金) 予防接種(よるべ沼代) (土) 予防接種(わらべの杜) 20(金) よるべ沼代日帰り旅行 (土) 予防接種(わらべの杜)	6(土) 全体職員会議 18(木)～19(金) 障害者施設支援部会(札幌) []		
	12			
	12	4(土) 県西地区文化事業 11(土) よるべ会保護者会・清掃 17(金) よるべ沼代クリスマス会 18(土) コスタ二宮クリスマス会 18(土) わらべの杜クリスマス会 28(火) よるべ沼代餅つき 29(水)～1/3(月) 冬休み	()～() 児童発達支援部会() []	
		1		
		1	4(火) 仕事始め 7(金) どんど焼き(わらべの杜) 8(土) よるべ会新年会 14(金) どんど焼き	()～() セルプリーダ-養成後期ゼミ 27(木)～28(金) 福祉協会全国(京都) []
			2	
2			19(土) 内科検診(よるべ沼代) 19(土) よるべ会保護者会役員会 27(日) 消防団合同訓練(よるべ沼代・わらべの杜)	19(土) 全体職員会議
	3			
3	(日) わくわくのりのりコンサート	10(木) よるべ会理事会 12(土) 全体職員会議 18(金) よるべ会評議員会		

令和3年度

障害者支援施設「よるべ沼代」 事業計画

〔1〕 運営目標

よるべ会の基本方針に基づき、質の高いサービス提供ができる様、計画的に目標設定を行い、様々なニーズに対応する。入所利用者の高齢化・重度化に対応するために、「施設入所支援」「生活介護」「短期入所」「日中一時」「計画相談」事業をさらに充実させ、それぞれの事業で必要な支援を展開します。

また、「コスタ二宮」「梅香園」「ぼけっと」「わらべの杜」「どーむ」や、共同生活援助事業等と常に連携を持ちながら、利用者一人一人の存在を尊重しつつ、自立に向かう意識を高める。その為の力を生み出す道筋づくりと、施設生活の質の向上に向けた環境づくりを積極的・計画的に実施します。

〔2〕 年間計画

(1) 入所支援

前年度から変わらず、計40名（男24名、女16名 定員40名）でのスタートとなります。高齢化や重度化が進む中で、利用者一人ひとりの出来る事に目を向け、日々の生活や余暇活動を検討、充実を図ります。また、入所者の健康に留意し心身機能の維持・向上、感染症予防に努めます。職員間で情報共有を図り、状況に応じた配慮や介護保険制度への移行等、様々な視点で必要な支援を行ないます。

■入所者 年代別人数 (40名) 最小年齢19歳 最高年齢86歳

	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	平均年齢	計
男性	0	5	1	4	6	6	2	0	50.0	24人
女性	1	2	0	1	3	5	3	1	56.5	16人
計	1	7	1	5	9	11	5	1	52.6	40人

■入所者 障害支援区分人数 (40名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	0	0	0	3	11	10	5.29
女性	0	0	0	5	5	6	5.06
計	0	0	0	8	16	16	5.20

(2)生活介護事業 ■定員 40名 現員 42名(入所者 40名 通所者 2名)

	養鶏	楽菜	遊心
利用者人数	11 (通所 2名含む)	15	16
	男性 8・女性 3	男性 11・女性 4	男性 7・女性 9
支援員人数	7	5	8
	常勤 3・非常 4	常勤 4・非常 1	常勤 5・非常 3
活動場所	養鶏飼育場 1ヶ所 鶏作業棟 1ヶ所	遊心庵 1ヶ所	3Fホール 1ヶ所
主な活動内容	養鶏育成 餌づくり 餌・水やり 飼育場整備 鶏卵集め 卵みがき クラブ活動	リサイクル・園芸活動 環境整備・機能維持訓練 健康づくり・創作活動 クラブ活動	創作活動(ビーズ、ペグ、 季節の飾り)機能維持訓 練・健康づくり・創作活 動・クラブ活動
平均目標月額	2400円		

(3) 短期入所・日中一時支援事業 ■短期入所 定員 4名

市町村や関係機関と連携し、利用者・ご家族の要望への対応、緊急性の高い方の受け入れを実施していきます。それぞれの障がい特性に合わせた環境設定や支援方法の検討を行いながら、安定して生活が送れるようにします。

(4) 相談支援事業

相談室と連携して、地域へのニーズの高まりに対応、関係機関と調整し相談業務を実施します。

(5) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	保護者面談	10	ふれあい祭り／楽菜班日帰り旅行
5	GW レク	11	保護者面談
6	遊心班日帰り旅行	12	県西文化事業／クリスマス会／餅つき大会
7	健康診断	1	新年と成人を祝う会／西湘蘭展
8	夏祭り／夏休みレク／真夏の夜の夢コンサート	2	節分／内科検診
9	健民祭／敬老の日／歯科検診／養鶏班一泊旅行	3	わくのりコンサート
【その他】 インフルエンザ予防接種 (10月～11月)			

(6) 医療

・健康診断 2回／年 ・インフルエンザ予防接種 1回／年

- ・ 歯科検診 1回／年 ・ 訪問歯科 1回／週 ・ 精神科（訪問）1回／月
- ・ 訪問マッサージ4回／週 ・ 身体測定 1回／月
- ・ 定期通院（精神科・皮膚科・内科・外科・整形外科・歯科など）
- ・ 献立会議 1回／月 食事提供の委託先業者、管理栄養士、看護師、生活課長、主任が参加。
- ・ 医務、栄養ケア会議1回／月 医療面の変化、食事形態や栄養管理を含め個別対応の経過確認。健康保持のための適切な支援を行う。

（7）苦情解決

相談、要望、苦情について、相談窓口を設置。JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットを活用し、他法人と情報共有を図る。苦情解決の体制、手順に沿って各機関への経過・報告を行い、速やかに対応する。

（8）県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

相談員 2 名が隔月で訪問し、利用者さんと面談。面談の内容や、いただいた助言を活かし支援の質の向上に取り組む。

（9）防災・災害対策

年 3 回防災訓練の実施。内 1 回は小田原市消防団（22 分団）合同防災訓練を実施します。かながわ災害福祉広域支援ネットワークや県施設団体連合会等の災害時訓練を通して、職員の意識向上や災害時への備えを継続して進めます。

（10）職員の質の向上

- ・ 施設職員として必要な知識・技術の向上を意識し、計画的な外部研修への積極的な参加や内部研修を実施します。
- ・ 職員の教育体制について工夫・改善を進め職場への定着を高めるために職員のモチベーションの維持、育成と人材確保へ向けた対策を検討、実施していきます。
- ・ 権利擁護に対する意識を持ち、支援の向上に繋がります。

（11）地域連携

地域社会や関係機関との連携をはかり、求められる役割についての検討や地域会議への積極的な参加を行います。また地域行事への積極的な参加、協力を継続し、地域のボランティアさんとの交流を進めます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	到達点
【権利擁護の確立】事業所内で虐待防止委員会を作り、ヒヤリハットや KW 等から上がってきた事案について検討し他職員と情報共有を行う。虐待や権利擁護に対する意識の向上に繋げる。	虐待防止委員会が出来、虐待や権利擁護に対する意識の向上に繋がった。(改善案が実施できた。)
具体的活動②	到達点
【人材育成】知識・技術の向上を図る為、グループに分かれ個別課題(1G:認知について 2G 強度行動障害について 3G リスク管理について 4G 機能維持について)に取り組む。外部研修などへの積極的に参加する。	研修や、グループ検討会を通して得た事から、新たな取組みに繋がりに、活用する事が出来た。
具体的活動③	到達点
【業務の検証と改善】必要な業務と簡素化できる業務の見極めを行う。各日中活動班、寮で改善案を出し会議の場で活動の報告、状況の共有を進める。 職場での働きやすい環境づくり、環境美化を進める	業務内容の見極めが出来、日中活動班や寮の改善に繋がった。 職場の整理整頓が習慣化。職場での働きやすい環境づくり、環境美化への意識が高まった
具体的活動④	到達点
【地域社会との連携】地域やボランティアとの交流の工夫と検討を行う。 地域の会議への積極的に参加する	地域や関係機関と交流の機会が増えた。情報共有などができた。

令和3年度

共同生活援助・相談支援事業「地域生活支援・相談支援室」事業計画

〔1〕運営目標

令和3年度は定員となった状態でスタートを予定しています。入居数年を経過した若い世代の方々は徐々に各々の目標を見定めて、それに向けた支援を求めています。また高齢の世代の利用者の方々には、それぞれのライフステージに応じた支援を必要とされています。こうした幅広い世代やニーズがある利用者の方々を念頭に、利用者主体の支援を実施していきます。まだまだコロナ渦が続くことが予想されるため、ホームの生活において感染の防止、拡大の防止に努め、必要な対策を講じ安心、安全な生活支援の提供を行います。

〔2〕年間計画

(1) 共同生活援助（かめりあホーム事業所、ポラリスホーム事業所）

合計で8か所の共同生活住居を中心に、かめりあホーム事業所（定員33名）、ポラリスホーム事業所（定員13名）の2か所の共同生活援助事業を実施します。コロナ渦が続くことが予想されるため、感染防止、拡大対策に十分に留意をしながら日々の利用者の暮らしを支えていきます。

■定員46名 現員44名（3月1日現在）

■入居者 年代別人数（44名） 最小年齢19歳 最高年齢82歳

	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	平均年齢	計(人)
男性	3	7	1	7	5	6	1	1	43.2	31
女性	1	1	0	1	2	3	4	1	58.2	13
計	4	8	1	8	7	9	5	2	47.6	44

■入所者 障害支援区分人数（44名）

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	1	1	15	8	5	1	0	2.6
女性	0	0	3	6	4	0	0	3.1
計	1	1	18	14	9	1	0	2.8

(2) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4		10	ふれあい祭り
5		11	
6		12	

7	健康診断	1	よるべ会新年会
8	夏祭り	2	
9	「がんばってる会」総会	3	
【その他】インフルエンザ予防接種（10月～11月） ホーム外食（4半期に1回） ホーム日帰り旅行（10月）			

（3）医療

- ・健康診断 1回／年 ・インフルエンザ予防接種 1回／年
- ・定期通院（精神科・皮膚科・内科・外科・整形外科・歯科など）

（4）苦情解決

相談、要望、苦情について、相談窓口を設置。JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットを活用し、他法人と情報共有を図る。苦情解決の体制、手順に沿って各機関への経過・報告を行い、速やかに対応する。

（5）防災・災害対策

年2回の防災訓練を実施。かながわ災害福祉広域支援ネットワークや県施設団体連合会の災害時訓練、地域の防災フェスタ等への参加を通じて、職員の意識向上や災害時に備えるための対応を継続して進めます。

（6）職員の質の向上

権利擁護、虐待防止、自己決定支援など昨今の障害福祉サービスで求められることの多くなったこれらのテーマを念頭に、年間を通じて各々が意識を取り組みを重ねていきます。また、内部研修を通じて共通認識を持ち、利用者の支援に活かせるようにしていきます。

（7）地域連携

地域社会や関係機関との連携をはかり、今後も地域行事への積極的な参加、協力を継続します。また、地域の方への挨拶や入居者さんも参加して行う近隣の清掃活動等で日常的に交流を深めます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	到達点
<p>【権利擁護の確立】◆学習の場、研修への積極的な参加等の機会を作る。</p> <p>◆自己チェック表を活用。自己評価、課題の抽出、改善を図る。</p>	<p>日常の記録に権利擁護に関する記述が増えた</p>
具体的活動②	到達点
<p>【業務の検証と改善】◆業務状況を確認。必要な業務と簡素化できる業務の見極めを行う。◆現場からの提案の吸い上げをし、業務に反映をしていく。</p>	<p>ウィークリー業務、マンスリー業務、年間とスケジュールを意識した業務運営を試行していく。</p>
具体的活動③	到達点
<p>【人材の確保、育成】◆利用者の自己決定を支援するために、ホームミーティングを定期的に行い、利用者の意向を受け止めていく支援を行う。</p>	<p>四半期ごとにホームミーティングを実施し、個々の利用者の自己決定をその中で進めていく。</p>
具体的活動④	到達点
<p>【地域社会との連携】◆事業所の得意なこと（人、物、場所等）を活用し地域との関わりを深める</p>	<p>地域との交流の機会が増えた</p>

〔4〕 相談支援室

1. 特定相談支援事業（計画相談支援）

障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援していく。

- ・ サービス等利用計画の作成
- ・ モニタリングの実施

令和3年度

障害福祉サービス事業所「コスタ二宮」事業計画

〔1〕 運営目標

コロナ禍を意識した中で、利用者の人権を尊重し、一人ひとりの思いに寄り添いながら、個々の強みを生かし、適切なサービス提供をしていきます。

〔2〕 年間計画

(1) 障害福祉通所サービス事業

① 就労継続支援B型事業 定員=20名 現員24名

- ・食品作業を主体とし、商品がすべてオリジナルである為の特性を生かし、利用者個々の強みを生かした作業提供をしていきます。
- ・豊かな地域生活継承のための高工賃確保と、就労に向けての「基本的作業態度」の熟成を図ります。

② 生活介護事業 定員=20名 現員23名

- ・豊かな社会生活を過ごすために生産活動・学習活動・創作活動等のプログラムを個々のニーズに基づき提供していきます。

(2) 日中活動

◆製パン班(就労継続支援B型事業)

- ・食パン・コッペパンのパン製造、パウンドケーキ・クッキー等の焼き菓子製造を2班にて展開していきます。施設給食、委託店舗の販路拡大も効果的に進めていきます。

収入計画=1,250万円	施設給食=350万円・委託店舗=700万円・外販他=200万円
支出計画=1,250万円	仕入れ、原料=700万円・工賃=450万円・その他=100万円
月額目標工賃	平均=20,000円

◆製麺班(就労継続支援B型事業)

- ・学校給食、施設給食、委託店舗販売を主として展開していきます。
- ・施設外支援の場「(株)柳川乳業」様へ、定期的な訪問による安定した支援を実施していきます。

収入計画=620万円	施設給食=240万円・学校給食=100万円・委託店舗=200万円 ((株)柳川乳業様=50万円・外販他=30万円)
支出計画=620万円	仕入れ・原料=300万円・工賃=230万円・その他=90万円
月額目標工賃	月平均=21,000円

◆SP 企画(生活介護事業)

- ・「働きたいという人のために」生産活動として、「小田原市観光協会」委託の提灯作成、「(株)日本リユース」の古着回収キットの組み立て、「“神奈川セルフ共同受注”から委託の駐車場清掃・水道メーター分解、「秋沢農園」から委託の果物一次加工等の作業を提供し工賃を支給していきます。
- ・他各種活動として、季節の飾りつけ等の創作活動、散歩・足湯等を実施し楽しく機能維持のための活動をしていきます。

収入計画=200万円	小田原市観光協会=70万円・共同受注=25万円 秋沢農園=15万円・その他=90万円
支出計画=200万円	工賃=120万円・その他=80万円
月額目標工賃	平均=5,000円

◆ぽいんと1の運営

- ・利用者社会参加の場として、シルバー人材センター派遣店員の方と“よるべ会”商品のアンテナショップとしての役割を果たしていきます。

(3) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	開所日(29日)	10	よるべふれあい祭り(17日) 日帰り旅行(30日)
5	開所日(8日、29日)	11	開所日(6日、23日)
6		12	開所日(11日)Xmas会(18日)、
7	開所日(10日)	1	新年会(8日) 開所日(30日)
8	開所日(7・28日)夏休み(12~16日)	2	開所日(19日、23日)
9	開所日(23日、25日)	3	開所日(12日)

【その他】健康診断=7月 予防接種・内科健診=11月

*開所日に関しましては、コロナ対応で各作業班単位の小グループでの活動を主とし状況を見ながら、団体レク等を実施していきます。

(4) 健康、衛生

- ・健康診断 1回/年 ・インフルエンザ予防接種、内科健診 1回/年
- ・体重、血圧測定 8回(開所日時)/年
- ・感染症に対する認識を高めて、コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等の予防と感染対策に努めていきます。

(5) 苦情解決

- ・要望、相談、ヒヤリハットの情報を、日常から収集できるシステムを構築しリスクの低減に努めます。
- ・JSY(寿徳会・至泉会・よるべ会)ネットによる情報を有効活用していきます。

(6) 権利擁護への取り組み

- ・“虐待防止マネージャー”を中心として、職員向けの自己チェックリストを定期的に実施し防止のための啓発活動を進めていきます。

(7) 防災・災害対策

- ・火災や地震等の非常事態に備えた防災訓練等を定期的実施します。
- ・防災計画(BCP)を精査します。

(8) 職員の質の向上

- ・内部研修の強化や他施設・法人内他施設への見学・実習等を実施していきます。

(9) 地域連携

- ・二宮町“東大跡パラスポーツの会”へ積極参加します。
- ・「よるべふれあい祭り」を通じて、“二宮町社会福祉協議会”“二宮工業団地”“福祉サービス事業所＝カンナカンナ”“二宮町シルバー人材センター”との連携を図ります。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	到達点
<権利擁護>事業所内研修の定期的な実施。利用者と職員の権利擁護の会を開催。人権侵害に係る自己チェックや虐待防止のチェックの実施。	定期的に学習の機会を設け、自己チェックを実施し、評価できたか？
具体的活動②	到達点
<人材の確保・育成>法人内他部署や他施設への見学研修を計画し、研修報告実施する。人事考課制度を有効活用し、人材育成の機会とする。	他施設見学で学んだことが、職員の成長につながり、現場での実践に活用された。
具体的活動③	到達点
<現場業務の検証と改善>業務改善の意見抽出の機会と、検証・改善・評価を定型化する。支援環境チェック基に、職場環境の点検と改善を定期的実施する。	業務改善の機会がシステム化され、安全でよりよい職場環境と利用者支援につながった。
具体的活動④	到達点
<地域社会との連携>パラスポーツの会との連携。「ふれあい祭り」「二宮商工まつり」等の、地域行事へ積極参加。工業団地や二宮町、近隣自治会との関りを探し、実践する。	地域社会との具体的な連携ができた。地域の役に立つ活動ができた。

「梅香園」事業計画



〔1〕運営目標

- ・利用者さんに安心して安全なサービス提供をします。
(利用者さんの最善の支援を検討します。)
- ・利用者さんの目標達成に向けた取り組みを推進します。(課題達成に向けて支援します。)
- ・研修を充実させて職員のスキルアップを図ります。
- ・地域活動・行事への参加・協力とともに、地域への啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきます。

〔2〕年間計画

(1) 障害福祉サービス事業

①生活介護事業 (定員22名)

【ほがらか・にこにこ・かがやき】利用人数25名 職員数6.5名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	1,250,000	100,000	1,100,000	50,000	
		目標工賃月額	3,000		

支援項目	支援内容
事業の目的	【ほがらか】“ほがらかに毎日たのしく”を中心に活動を展開していきます。 【にこにこ】にこにこと大好きな作業を中心に活動を展開していきます。 【かがやき】施設内やホーム、ご家庭で出来ることを増やすための繰り返しの生活訓練、家事訓練を中心に活動を展開していきます。
課題と作業のマッチング	利用者の適性を考えて、作業工程の見直しと細分化・工夫を継続して行っています。また、それぞれの事業所のコンセプトを意識し必要な支援、作業内容、活動等を考え実施していきます。
作業の内容	【園内作業】張子の生地を作成、PC作業、園内清掃、内職軽作業(アルミ缶つぶし、卵パックなど) 【園外作業】旧箱根北原ミュージアム庭園清掃、ネクスコ草取り、リンガーハット駐車場の剪定、除草作業など 作業室内の整備や物の置き場所など、環境面も見直していきます。
楽しみづくり	習熟性を高めて、より活動が楽しめるように、季節を感じられるような余暇の過ごし方を工夫していきます。
健康体力	P.Tについて、計画的に行っている内容については、継続して実施していきま

づくり	す。また、マンツーマンで実施できるように方法も考えていきます。 実施しているプログラム内容の効果確認も実施していきます。
個別について	個別の時間の在り方を再度見直し、必要なことを確実にできるような仕組みづくりを行っていきます。個別に取り組んできたことについての振り返りをしながら、計画的に支援できるようにしていきます。

②就労継続支援B型事業（定員18名）

【シャイン・あすなろ・ラルース】利用人数25名 職員数4.75名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	12,360,000	3,670,000	6,840,000	1,850,000	
		目標工賃月額	20,000		

支援項目	支援内容
事業の目的	<p>【あすなろ】“明日も作業が出来るたのしみを”を中心に、就労に向けた取り組みを中心に活動を展開していきます。</p> <p>【シャイン】ここがあなたたちの会社です「シャイン」としてしっかり作業をし、輝きましょう。</p> <p>【ラルース】高度な技術を目指し、やりがいのある作業にしましょう。</p>
作業内容	<p>【園内作業】シルク印刷、タオル印刷、張子作成、PC作業、よるべ会カレンダー作成、園内清掃、内職軽作業(タオルたたみ・のし・袋入れ、卵パック)</p> <p>【園外作業】旧箱根北原ミュージアム庭園清掃、ネクスコ草取りなど</p> <p>【施設外就労】ひかりの里(清掃・洗濯)足柄療護園(トイレ清掃)ラルース(木工所)</p>
課題と作業のマッチング	<p>あすなろ：作業種に対しての適性を見直しを行い、利用者の適性に合わせた他事業所の作業参加も考えていきます。</p> <p>シャイン：新たな作業にチャレンジして新規免許証取得を目指した支援をします。ラルースでは免許証の更新試験を積極的にしていきます。</p>
作業スキルの向上	<p>あすなろ：免許証試験を活用し作業スキル向上と、作業能力維持のために更新試験なども継続して行います。</p> <p>シャイン：免許証試験を目指して取り組むことを継続し、更新試験の継続だけでなく、新たな作業種にもチャレンジをできるように支援します。</p>
楽しみづくり	<p>あすなろ：利用者の好奇心や新たなことへの興味を大切に、挑戦する機会を提供していきます。</p> <p>シャイン：各教室の発表の場や行事に応じた創作活動はだけでなく、学習の分野から楽しみ作りを工夫していきます。</p>
健康体力づくり	<p>あすなろ：作業との気分転換を兼ねて、外での運動を継続します。PTは自主で行うだけでなく、必要に応じて一緒に行い健康体力づくりにつなげます。</p> <p>シャイン：PTは職員と一緒にできるような方法や工夫を考えていきます。</p> <p>医療面は毎朝の検温、日々の体調確認、感染予防対策等を確実に実施していき</p>

	ます。
個別について	あすなろ：個別の時間を確保して、利用者が楽しめること・やりがいにつながることを、一緒に取り組むことを大切にしていきます。 シャイン：PCでの学習時間を設定して、PCを使った作業種の拡大に繋げていきます。

(2) 日中一時支援

就労後の支援（職場定着支援・金銭管理等）を行います。

(3) クラブ活動

外部講師による教室を開催し、利用者さんの楽しみを趣味や特技に引き上げ、生きがいのある暮らしに役立てていただきます。

音楽・ウクレレ・ヨガ・キーボード・歌唱・裁縫・リズム体操・エアロビ・書道・手話・絵画・漫画・パソコンの13教室

(4) 年間スケジュール

月	行 事	月	行 事
4		10	感謝祭
5	レク・利用者健康診断	11	レク・インフルエンザ予防接種
6	内科検診	12	文化事業・ハートフルキャンパ ^ン
7	レク・職員健康診断	1	レク・よるべ新年会
8	レク	2	
9		3	事業所レクリエーション
【その他】年度始め・新年初め会・はばたき会			

(5) 医療

年1回の健康診断と内科検診、インフルエンザ予防接種の他、必要に応じて通院同行等を行います。

(6) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、「苦情解決システム」に基づき丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(7) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（男女各1名）による相談支援を、継続的に年間6回行います。

(8) 防災・災害対策

防災委員会を設置し、防災計画・防災設備の点検及び非常食の整備を行い、災

害に備えて定期的に避難訓練を行います。

(9) 職員の質の向上

年4回の園内研修及び施設見学等を企画し、職員のスキルアップを図ります。

(10) 地域連携

地域活動及び行事等に参加・協力するとともに、「はーとふる通信」を発行して啓蒙活動を推進します。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	到達点
<p>【権利擁護】</p> <p>○その人らしさを創造できる支援場面の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の時間を確実な確保 ・教室での個別課題の再設定 ・ホームの生活場面の支援の質の向上 ・アートに挑戦 	<p>一人一人の生活する、作業する権利を考え、その人らしさを創造できる支援場面の展開が出来た。</p>
具体的活動②	到達点
<p>【職員のスキルアップ】</p> <p>○年4回の園内研修会と施設見学等を開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく研修 ・専門性の向上（権利・ものづくり・事例検討・リスク・防災等） 	<p>職員の専門性が高まり、日々の支援に活用出来た。</p>
具体的活動③	到達点
<p>【業務の検証と改善】</p> <p>○検討委員による検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務マニュアル・労働環境・防災等の業務の見直し等 	<p>業務の改善</p>
具体的活動④	到達点
<p>【安心で安全なサービスを提供する】</p> <p>○リスクマネジメント委員会においてヒヤリハットや事故報告から改善策の確認と検証をする</p>	<p>安心で安全な施設運営</p>
具体的活動⑤	到達点
<p>【地域との連携】</p> <p>○障がい者の啓蒙活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した行事運営 ・「はーとふる通信」の発行 	<p>地域の方と一緒にあった行事の運営等、はーとふる通信の発行</p>

「あずさの家」事業計画



〔1〕運営目標（*梅香園の運営目標に準じます。）

- ・利用者さんに安心して安全なサービス提供をします。
（利用者さんの最善の支援を検討します。）
- ・利用者さんの目標達成に向けた取り組みを推進します。
- ・研修を充実させて職員のスキルアップを図ります。
- ・地域活動・行事への参加・協力ともに、地域への発信など啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきます。

〔2〕年間計画

（1）あずさの家<共同型住居：定員7名>

女性7名 平均年齢50.6歳（最高年齢：86歳／最少年齢：30歳）
 区分6：1名／区分5：2名／区分4：0名／区分3：3名／区分2：1名
 平均程度区分：3.86

支援項目	支援内容
健康・医療	入居者の体力・気力の減退に気を配り、なお一層の感染予防に気をつけて落ち着いた生活を維持していきます。 入居者の体調変化にすぐ気づけるように共通認識をもって職員同士で連絡を密にとるように心がけます。 利用者、職員みんなが健康に過ごせるように、行動に気をつけます。
楽しみづくり	ホーム内で楽しめることを企画します。個別外出を定期的に行い、ストレスを溜め込まない工夫をします。 一人一人がホームで楽しめることを一緒に考えていきます。
生活づくり	定期的に職員と一緒に片付けを行えるようにします。 居室に置ききれない衣類整理を行い、倉庫にて保管します。
夜間支援	ポプラと連携して緊急時の安全確保を行います。夜勤時の何かあった際の対応等について、職員間で流れなどをしっかり理解できるようにしていきます。

（2）ポプラの家<共同型住居：定員7名、短期入所1床>

男性6名 平均年齢58.3歳（最高年齢：77歳／最少年齢：41歳）
 区分5：3名／区分4：2名／区分3：1名／平均程度区分：4.33

支援項目	支援内容
------	------

健康・医療	<p>入居者の体力・気力の減退に気を配り、なお一層の感染予防に気をつけて落ち着いた生活を維持していきます。</p> <p>入居者の体調変化にすぐ気づけるように共通認識をもって職員同士で連絡を密にとるように心がけます。</p> <p>利用者、職員みんなが健康に過ごせるように、行動に気をつけます。</p>
楽しみづくり	<p>免疫力を向上させる食材を使って調理実習を行います。</p> <p>体力維持とストレス発散の為に近隣の散策等を行います。</p>
生活づくり	<p>自分から発信されない入居者の生活を少しでも潤いのあるものにするために、職員から提案していきます。</p> <p>自室にいるのが一番楽しいと感じていただけるような工夫を職員同士で考えていきます。</p>
夜間支援	<p>あずさと連携して緊急時の安全確保を行います。夜勤時の何かあった際の対応等について、職員間で流れなどをしっかり理解できるようにしていきます。</p>

(3) わたくも<アパート型住居：定員7名>

男性5名／女性0名 平均年齢57.6歳（最高年齢：67歳／最少年齢：43歳）
 区分4：1名／区分3：1名／区分2：3名／平均程度区分：2.6

支援項目	支援内容
健康・医療	<p>入居者の体力・気力の減退に気を配り、なお一層の感染予防に気をつけて落ち着いた生活を維持していきます。</p> <p>入居者の体調変化にすぐ気づけるように共通認識をもって職員同士で連絡を密にとるように心がけます。</p> <p>利用者、職員みんなが健康に過ごせるように、行動に気をつけます。</p>
楽しみづくり	<p>個々での楽しみだけでなく、皆で楽しむことが体験できるように提案していきます。</p>
生活づくり	<p>生活の潤いを入居者自身が感じることが出来ているのか、ホームでの日々が充実出来ているのかなど、もっと寄り添った支援が出来るようにしていきます。</p>
夜間支援	<p>ポプラとあずさと連携して、緊急時の安全確保を行います。</p>

(4) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4		10	ホーム日帰りレク
5	合同レク（帰宅者以外） 利用者健康診断	11	インフルエンザ予防接種 地区公民館文化祭
6		12	文化事業・合同クリスマス会

7	職員健康診断	1	初詣
8	地区夏祭・合同BBQ	2	節分豆まき
9		3	観桜会
【その他】誕生会・ドライブ・料理教室・お菓子作り（随時）			

(5) 医療

日々のバイタルチェックを行うとともに、必要に応じて通院同行等を行います。

(6) 苦情解決

入居者の話に耳を傾け、「苦情解決システム」に基づき丁寧な対応を心がけます。JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(7) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（男性女性各1名）による相談支援を、継続的に年間3回行います。

(8) 防災・災害対策

園の防災委員会に参加して、防災計画・防災設備の点検及び非常食の整備を行い、災害に備えて定期的に避難訓練を行います。

(9) 職員の質の向上

年4回の園内研修に参加するとともに、外部の研修にも積極的に参加し、職員のスキルアップを図ります。

(10) 地域連携

地域活動及び行事等に参加・協力するとともに、園で発行する「はーとふる通信」の作成に協力して啓蒙活動を推進します。

〔3〕 ISO 品質活動計画

*梅香園の品質活動計画に準じます。



福祉型障害児入所施設 「わらべの杜」 事業計画

〔1〕 運営目標

社会的養護を必要とされている児童に対し、安心・安全な“暮らし”を提供します。入退所における空床がないよう事前の調整等を図り、通年通して安定した運営となることを目指します。また、円滑な地域移行となるよう早期の移行調整を図り、児童にとって最適な暮らしの場へつなげていくようにすすめていきます。

児童の権利擁護に関しては、児童虐待の防止と職員の意識向上に今後も引き続き努めていきます。

〔2〕 年間計画

(1) 障害児入所支援（定員40名（男29名、女11名）、6ユニット制）

今年度は8名もの地域移行予定児童がおり、移行先は本人の意向に沿った方向性を検討し、丁寧な引継ぎを行なっていきます。また、重度ユニットではとくにマッチングの難しさがあり、入所希望の児童に関しては双方にとってより良い環境となることを確認した上で受け入れを実施していきます。

(2) 短期入所事業（定員4名）

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら受け入れを実施していきます。新規のご希望の方が若干減少しつつあり、相談支援事業所との連携を図り、必要な方へのサービス提供となるよう周知をしていきます。

(3) 学校関係

【今年度通学予定の学校および人数】（令和3年4月1日現在）

学校名	学部等	男	女	計
下中小学校	特別支援級	4	2	6
橘中学校	特別支援級	7	1	8
小田原養護学校	小学部	1	1	2
	中学部	1	0	1
	高等部	8	5	13
	高等部分教室	1	0	1

(4) 年間スケジュール

月	行事	月	行事

4	入学式・障害者スポーツ大会	10	下中うっしっしー祭り・ふれあい祭り
5	バーベキュー・みんなのつどい	11	地域行事
6	地域行事	12	Xmas会・ホームパーティ
7	夏休み	1	初日の出・新年会
8	一泊旅行・各寮イベント	2	節分・卒業旅行
9	防災の日	3	非常食の日・送る会
【その他】日帰り旅行・長期休暇各寮イベント・GH交流会など			

(5) 医療

- ① 職員健康診断 1回/年
- ② 児童健康診断 2回/年（うち1回は学校で実施）百合が丘クリニック
- ③ 児童歯科検診 1回/年 こうの歯科
- ④ インフルエンザ予防接種 1回～2回/年（小学生のみ2回）百合が丘クリニック
- ⑤ その他予防接種
- ⑥ 定期通院（児童精神科・皮膚科・眼科・小児科など）

(6) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(7) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（男性1名・女性1名）が継続的に年間5回～6回来園。

各寮にそれぞれ入り、児童からの相談や会話に積極的に入っていただいています。権利擁護にかかる内容や、なかなか人に言えない内容等があった場合には、KW 協力員、施設長とも相談し、施設全体として解決に向けて取り組みます。

(8) 防災・災害対策

今年度も例年通り月1回の避難・通報・消火訓練を実施していきます。また、昨年度は中止となってしまった地域での防災フェスタ等にも今年度は参加し、職員の防災意識向上へ努めていきます。

風水害を想定したハザードマップの確認と訓練には今後力を入れていくようにしたいと考えています。

(9) 研修

施設全体のボトムアップを図るため、研修に変化をつけて実施していきたいと思っています。昨年度は実施できなかった他施設への研修も含めて、職員のモチベーショ

ンの維持・向上を目指し、将来を担ってもらえる“人財”の育成と確保に力を入れていきます。

(10) 地域連携

地域の中の一つの拠点としての機能を保ち、地域に必要とされる施設、開かれた施設を目指し、今後も地域活動・行事に積極的に参加・協力をしていきます。

また、会議室の貸し出し等による地域ニーズにも対応できるよう周知していきます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	到達点
【権利擁護の確立】 (1 寮) こども会議の発展・質の向上	こども会議において、衛生や社会についてプチ座学や実践を通して、学びながら体験を積んでもらい社会性を向上。
(2 寮) SST を継続し、児童等の発言できる機会を増やしていく	SST で話し合っている内容が実生活の中で反映され穏やかな関わりを持てる時間が増える。自分の意見を積極的に発言できるようになる。
(3 寮) 意見の発信をしやすいこども会議を開催	子どもたちが気軽に意見を出し、盛んな意見交換ができた。
具体的活動②	到達点
【人材確保・育成の取組み】 他施設研修を実施し、発想の広がりやスキルアップを目指す	全ての職員が他施設研修を経験し、発想の広がりを持つことができた。
具体的活動③	到達点
【業務の改善と検証】 安定した業務の土台作りを目指す (1 寮)	1 寮の特質を意識した土台作りの1年として位置づけたい。子どもたちの安心・安全な環境を維持するために、日々の支援(業務)環境の改善を意識し、生活の質向上と職員の心身の安定を目指す。
具体的活動③	到達点
【業務の改善と検証】 業務の効率化を図る	学校の宿題や持ち物等をはじめ、児童の生活面での支援において、職員側の動きを再構築し職員間で共有。職員が業務についての困り感がなく業務にあたることができる。
具体的活動④	到達点
【地域社会との連携】 地域行事への参加を模索	昨年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、地域行事は軒並み中止となったが、今年度は地域行事の開催が徐々に緩和されていくことが予想される。開催された地域行事へ積極的に参加する。

令和3年度

児童発達支援事業所 「どーむ（童夢）」 事業計画

〔1〕 運営目標

安定した事業運営を目指し、活動を通して広く周知をしていきます。

また、療育を必要とされている児童に対し、可能な限りサービス提供できるよう関係機関との調整を図り、児童に丁寧かつ慎重に支援し、保護者への支援も実施しながら、児童の健やかな成長をサポートしていきます。

〔2〕 年間計画

(1) 児童発達支援事業（定員 10 名／日）

適切な環境の中で療育を実施し、児童の情緒の安定を図り、心身とも健やかな成長となるよう支援していきます。就学に向けた支援では関係機関との連携を図り、安心した移行となるよう準備を進めていきます。

「発達支援」「家族支援」「地域支援」を支援の3本柱として、個別支援計画（ぼくとわたしの目標シート）を作成。作成にあたっては併行通園先との情報共有を生かし、適切な目標設定を目指します。

児童、保護者の気持ちに寄り添い、家庭で適切な養育になっていけるようサポートしていきます。また、昨年度は実施できませんでしたが、茶話会を年間3回企画し、保護者同士の支えにもなっていけるよう機会を提供していきます。

(2) 年間スケジュール

顔合わせ週間、面談、茶話会（年3回）、プール等

(3) 医療

協力医療機関、その他必要な医療機関と連携していきます。

(3) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(4) 防災・災害対策

今年度も月1回の避難・消化・通報訓練を実施していきます。また、短調な訓練の繰り返しとならないよう配慮し、緊張感を持った取り組みと風水害への対策も想定した訓練についても実施していきます。

(5) 研修

今年度も引き続き併行通園先とのコミュニケーションを通し、幼稚園・保育園としての考え方を学び、小田原市で実施している「早期発達支援事業(研修)」への参加も行っていきます。外部研修も積極的に出席していきます。

また、ペアレントトレーニング研修を保護者向けに企画できるよう検討をすすめていきます。

(6) 地域連携

併行通園している幼稚園・保育園等と連携し、児童の状況把握に努め、早期対応が可能となるよう向けていきます。

また、市町の発達相談(心理相談)とも連絡を取り合い、療育としての視点だけでなく、心理的側面からのアプローチについても探っていきます。

〔2〕品質活動計画

具体的活動①	到達点
【人材確保・育成の実質的取り組み】 各研修への参加、他事業所や併行通園先への訪問による経験を積み見識を深める	研修へ参加と効果は見られたか、併行通園先への訪問により、今後の糧となる実績を積み上げることができた。
具体的活動②	到達点
【業務の改善と検証】 業務日誌の記載やその他記録類の見直しを図り、より効果的かつ効率的な情報整理と業務遂行を目指す	現在の状況を整理し、将来につながる道筋をたてることができた。

令和3年度

障害者支援センター「ぽけっと」事業計画

〔1〕運営目標

障害者就業・生活支援センター事業として、県西圏域の障害のある方に対し、就職や職場適応などの就業面の支援及び、生活習慣の形成や日常生活の管理など、就業に伴う日常生活、社会生活上の支援を行います。また、身近な地域で就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を提供するため、地域における関係機関との連携を行い、障害者の職業生活における自立を図り、効果的な支援提供の為に導入した職員ライン制の役割分担を今一度明確にし、支援体制の強化を行います。

〔2〕年間計画

(1) 障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定事業)

- ①障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- ②事業主に対して、障害者の雇用前後の雇用管理に係る助言等を行う。
- ③障害のある人に対して、当センター及び障害者職業センター又は事業所により行われる職業準備訓練及び職場実習を行うことを斡旋する。
- ④障害者雇用支援者に関する情報の収集及び提供並びに研修を実施する。
- ⑤関係機関との連絡会議などを開催し、これら機関との連携を図る。
- ⑥職場定着支援促進のための在職者の交流活動を行う。
- ⑦求職者を対象とした「ピア活動」を行う。
- ⑧中小企業における障害者支援担当者に対する支援として「企業交流会」を行う。

(2) 障害者就業・生活支援センター事業(生活支援事業)

就業に伴う日常生活の支援を必要とする登録者に対し、窓口での相談や職場・家庭訪問等による生活面の支援などを実施する。

(3) 地域就労援助センター事業

就労が困難な障害のある人の就労を支援するため、職業能力に応じた就労の場の確保と職場定着を支援する。

(4) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4		10	合同面接会、ぽけっとピア
5	ぽけっとレク	11	企業交流会

6	ぼけっとピア	12	ぼけっとレク
7	養護学校連絡会	1	勉強会
8	勉強会、合同ピア	2	ぼけっとピア・養護学校連絡会
9	面接練習会、合同ピア	3	ぼけっと連絡会

(5) 職員の質の向上

- ①登録者一人ひとりの能力と適性を発揮できる就労支援を実施するために、内外の研修会に積極的に参加し、支援者としての権利擁護の視点や、専門的な知識の習得等、そのレベルアップを図る。また、会議等にて報告会を開催し、外部研修の成果を全員で共有する。また、ケース検討や記録の振り返りも定期的に行い、支援力の底上げをしていく。
- ②職員個々の目標を設定し、課題や達成時期等を明確にするとともに、目標に対する進捗状況の確認を行う。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動	到達点
【権利擁護の確立】 <ul style="list-style-type: none"> 地域において求められる権利擁護について、外部講師を招くなど、所内勉強会を実施する チェックリストの実施、見直しをし、教育項目への反映をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 要請される権利擁護の明確化 効果測定チェックリストを通して定期的に行う。
【人材育成】 <ul style="list-style-type: none"> 支援記録をより良いものにしていく取り組みを行う。 ケース検討する力を所内で高め、支援力につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 開示に応じれる支援記録を作り上げる。経験年数に関わりなく、支援の内容が共有できる記録方法。 年間を通じてケース検討を続け、スーパーバイズができる職員集団を目指す。
【業務の改善、見直し】 <ul style="list-style-type: none"> PKP(ぼけっと環境改善プロジェクト)による、定期的な就業環境改善などの活動 ムリ、ムダ、ムラを無くすための業務の見える化への取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度同様に PKP を組織化して、担当チームからの意見を反映させる。 個々に帰属している業務が見える化して、仕事をシェア出来る仕組みを考えて導入する。
【地域社会との連携】 <ul style="list-style-type: none"> 地域資源との連携を目的とした訪問 ぴあ活動の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源と顔の見える関係づくり。 ぴあ活動の拡充・発信をすることで地域への障害者の認知を高める。